

別紙 1

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書】(小学校用)

都道府県名	岩手県
-------	-----

学校の概要(平成 15 年 4 月現在)

学校名	松尾村立松野小学校								
学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	1	1	1	2	1	0	7	16
児童数	27	28	29	22	47	27	0	180	

研究の概要

1. 研究主題

一人一人の児童に「確かな学力」を育む指導に関する研究
～個に応じる算数科の指導の工夫～

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

全学年算数科(児童の理解度に差がしやすい教科であるため)

(2) 年次ごとの計画

平成 14 年 度	<p>テーマ</p> <p>「確かな学力」の明確化と指導体制・学習形態の工夫</p> <p>仮説</p> <p>「確かな学力」を明確にした上で、算数科の指導において、指導体制と学習形態の工夫を行えば、「確かな学力」を身に付けた児童が育つであろう。</p> <p>研究内容・方法</p> <p>「確かな学力」の明確化と指導内容の精選</p> <p>指導体制・学習形態の工夫</p> <p>授業以外の学力向上対策の効果的な在り方</p> <p>学力向上に向けた学校・家庭・地域の連携の在り方</p> <p>授業実践・理論研究・文献研究により研究課題を明らかにしながら、テスト法・記録法・質問紙法による実態把握及び検証を行う。</p>
	<p>テーマ</p> <p>「確かな学力」を育む学習活動の工夫と改善</p> <p>仮説</p> <p>算数科の指導において、個に応じた多様な学習活動の工夫と改善を行えば、「確かな学力」を身に付けた児童が育つであろう。</p> <p>研究内容・方法</p> <p>学習過程の基本型と学習形態の工夫</p> <p>個や集団を生かす場の設定</p> <p>TT・少人数指導による支援</p> <p>授業以外の学力向上対策の効果的な在り方</p> <p>学力向上に向けた学校・家庭・地域の連携の在り方</p>

平成 15 年 度	<p>テーマ</p> <p>「確かな学力」を育む学習活動の工夫と改善</p> <p>仮説</p> <p>算数科の指導において、個に応じた多様な学習活動の工夫と改善を行えば、「確かな学力」を身に付けた児童が育つであろう。</p> <p>研究内容・方法</p> <p>学習過程の基本型と学習形態の工夫</p> <p>個や集団を生かす場の設定</p> <p>TT・少人数指導による支援</p> <p>授業以外の学力向上対策の効果的な在り方</p> <p>学力向上に向けた学校・家庭・地域の連携の在り方</p>
--------------------	---

授業実践・理論研究・文献研究により研究課題を明らかにしながら、テスト法・記録法・質問紙法による実態把握及び検証を行う。

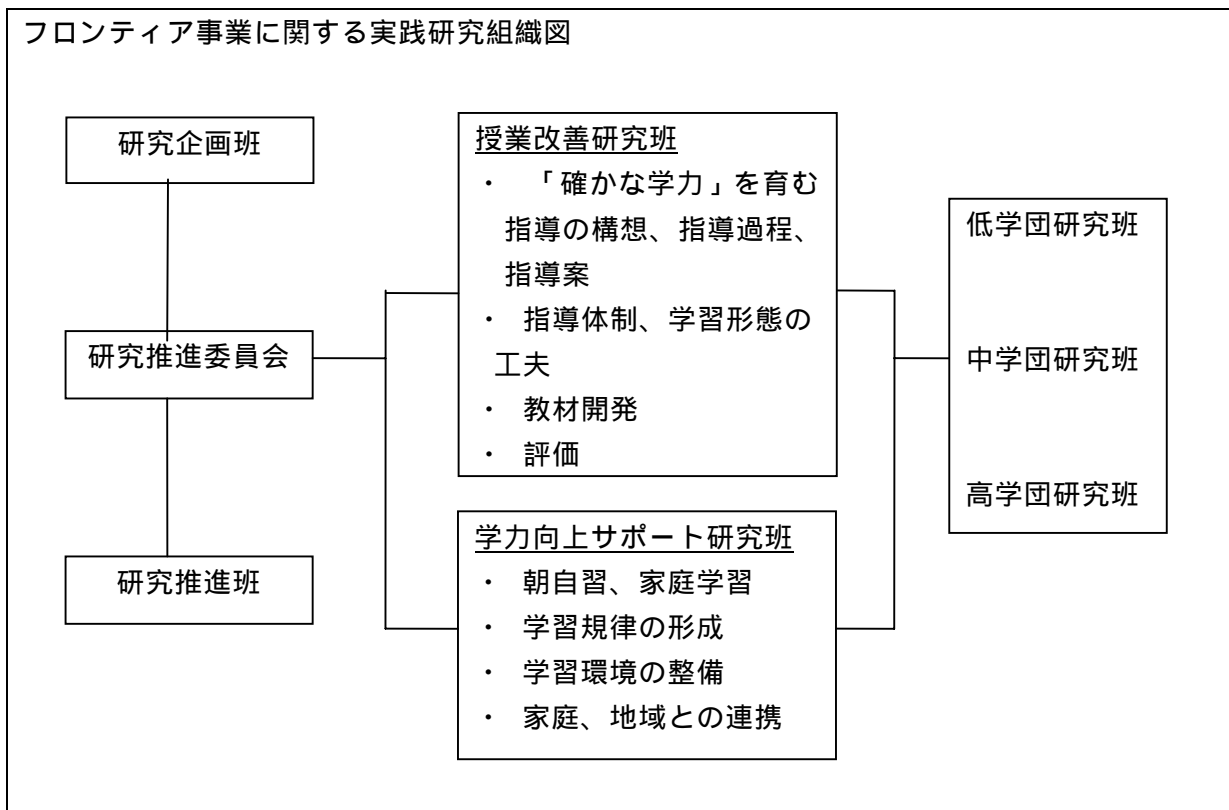
平成16年度

テーマ
算数科における指導と評価の一体化を目指す工夫と改善
仮説
算数科の指導において、一人一人の児童を生かす指導と評価の一体化、及び評価方法の工夫・改善を行えば、「確かな学力」を身に付けた児童が育つであろう。

研究内容・方法
TT・少人数児童による支援
支援・評価の工夫
授業以外の学力向上対策の効果的な在り方
学力向上に向けた学校・家庭・地域の連携の在り方

授業実践・理論研究・文献研究により研究課題を明らかにしながら、テスト法・記録法・質問紙法による実態把握及び検証を行う。

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究の成果及び今後の課題

1. 研究の成果

・ 単元を通しての課題把握を行う場面やまとめ・交流を行う場面では、一斉指導あるいはTT指導の形態をとり、個々の学習スタイル等に対応する場合には、少人数指導の形態をとることによって、学級全体での思考の場を保障したり、個に応じた指導を充実したりする

ことができた。

- ・ 具体的な「判断基準」を基に個々の児童の学習状況をとらえることができ、それを基にした支援や指導形態等の工夫を行うことができた。
- ・ 「評価」を蓄積することや児童に対するアンケートを分析すること等により、学級全体や個々の児童がもつ課題をとらえることができた。それを基に、「一人一人が自分の考えをしっかりとつ」ことに主眼を置いた単元の学習展開、「お互いの考えのよさに気付く」ことに主眼を置いた学習展開等の工夫を行うことができた。
- ・ 意図的・計画的な学習形態・学習活動の工夫が、学習内容の定着・学習意欲の向上につながった。
- ・ 学校における取組に関して、保護者や地域の方々にも関心をもっていただき、協力を得ることができた。
- ・ 村内の小・中連携の一つの形として、「学習の手引(仮題)」を作成することとした。

2 今後の課題

- ・ 単位時間毎、単元毎に児童が自分自身の学習を振り返る活動を取り入れてきてはいるのだが、さらに形式や内容を吟味し、児童が学習の主体者として学習コースを適切に選択したり、自己の学習の見通しをもつことができたりするような自己評価能力を身に付けさせていきたい。
- ・ 知識や技能面などはテスト等で測ることが容易であるが、いわゆる「関心・意欲・態度」や「数学的な考え方」を測るための手立ての吟味をし、適正な評価を児童に返したり、指導の改善に生かしたりしていきたい。
- ・ 習熟度別グループ等に分かれたときには、児童の実態に合わせた教材等を準備してきているのだが、発展・補充指導のための教材についてはまだ十分ではないので、これからも研究を進めていきたい。

学力把握のための学校としての取組

定期的な学力調査の実施(NRT:1学期中頃、CRT:2学期末)

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

「平成15年度松尾村小中学校一貫教育実践交流会」(H15.7.29)の開催

「平成15年度第2回学力向上フロンティアスクール盛岡地区研究推進会議」(H16.2.23)の開催

松尾村学力向上フロンティア協議会の設立と「学力向上フロンティアだより」(年5回発行)の教育関係者及び地域への配布

「平成15年度第2回久慈地区学力向上フロンティアスクール研究推進会議」(H16.1.28)において、本校の取組を紹介

北海道渡島地方のフロンティアスクール関係者に本校の取組を紹介(H16.2.27)

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 1 5 年度からの新規校 1 4 年度からの継続校
- 【学校規模】 6 学級以下 7 ~ 1 2 学級
 1 3 ~ 1 8 学級 1 9 ~ 2 4 学級
 2 5 学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T . T による指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無